

さがみはら生物多様性 ネットワーク ニュース

第22号

発行日
2025年3月



発行 さがみはら生物多様性ネットワーク

さがみはら生物多様性ネットワークは、生物多様性を将来にわたり保全するための取組を実施し、人と自然が共生する社会の実現を目指しています。生物多様性とは、生きものの豊かな個性とつながりのことです。地球上の生きものは全て直接また間接的に支えあって生きています。

さがみはら生物多様性シンポジウム できることから始めよう！

2025年
2月15日(土)
相模原教育会館

～生物多様性をつなぐ場所づくり～を開催しました！

第1部 基調講演

「窓辺から始める自然回復 ビオトープガーデンのススメ」

泉 健司さん (山岳環境研究所理事
NPO法人 Green Works 顧問)



ビオトープって何？簡単に言うと、地元の野生生物が自由気ままに出入りしたり暮らしたりできるように作られた場所です。では、ビオトープガーデンとは何か？野生生物と人間のための場所。やせ我慢しないでできる身近な自然保護です。

都市部は、緑はたくさんありますが、よく見るとその緑は帰化植物や園芸種だったりします。園芸種であっても、その花や実を地元の野生動物が食べて暮らしているの、一概に悪いとは言えません。都市部のビオトープガーデンは、野生植物の役割を園芸種で補う代替型ビオトープが効果的です。野生生物は長い歴史のなかで生育地ごとに、遺伝的に最適化して生き残ってきました。そのため、不用意に他地域に生育している野生生物を持ちこんで、遺伝子汚染が起こってしまうと、今残されている自然が共倒れしてしまうリスクが高まります。そのため、ビオトープガーデンでは、自然と庭に入り込んできた在来の野生種は大切に利用しながら、庭から出ていく外来種の影響を抑えるために、他地域の野生種を持ち込まずに、野生化しにくい園芸種で

代替することをおすすめします。

庭やベランダ、公園や街路樹のような限られた小さな住处だけでは、身近な野生生物の暮らしを支えきれませんが、ビオトープの機能を気ままだに分担し、シェアし合うことで、町全体として多様性の高い生息空間としての利用が可能になります。水飲み皿1つ、鉢植え1つから気軽に始められます。長続きをすることが大事ですので、まず自分たちではじめてみましょう。それぞれのおうちでわがまま気ままにお気に入りの生き物たちと仲良くすると、いつの間にか町全体が、自然にやさしい空間になります。

詳しく
知りたい方は
こちらから▼



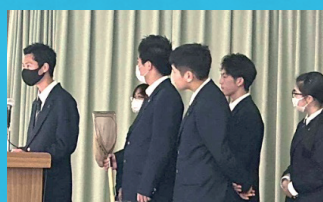
第2部 活動事例発表

「ホトケドジョウの保全活動 ～ホトケドジョウをほっとけない！～」

神奈川県立上溝南高等学校生物探究部

相模川の支流にある八瀬川で、絶滅危惧ⅠB類であるホトケドジョウの保全活動を行っています。

定点モニタリング調査で、生息する魚類等を測定、記録し、環境DNAを用いた多地点調査で、ホトケドジョウが多く生息する地点を見つけ、捕獲採集調査を実施しました。



「わくわく！緑区の里山保全」

青山学院大学シビックエンゲージメントセンター藤野プロジェクト

藤野地域で、「しのばら園芸市」にボランティアとして参加しています。園芸市の会場設営として、草刈りや木の階段づくりを行いました。しばらくたつと、すぐに竹や草が成長し、会場に適さない環境になってしまいます。このことから、適度に手を加えることが大切と感じ、里山の生物多様性は、人間社会との関わり方により維持されるものなんだと思いました。



動画配信中！

さがみはら生物多様性ネットワーク
チャンネル

生物多様性って
なんだろう？



外来種って
ワルモノなの？





「境川の斜面緑地を守る会」は、1995年に発足し、開発の進む境川沿いの緑地を守るための活動を精力的に行ってきました。

現在は境川中流域で保全された5ヶ所、約5haの緑地の手入れを行い、自然観察会などのイベントやモニタリング調査、小学校の総合学習の支援など、境川の自然にかかわる様々な活動を行っています。

日頃活動しているのは次の5ヶ所です。

- ◆橋本河畔林（橋本駅から徒歩20分 不定期）
- ◆古淵1丁目市民緑地（古淵駅から徒歩10分 第3日曜日）
- ◆古淵鵜野森公園（町田駅から徒歩20分 第1・3月曜日）
- ◆境川森野緑地（町田駅から徒歩15分 第1日曜日）
- ◆高木道正山河畔林（つきみ野駅から徒歩20分 第2日曜日）

自然と触れ合うのが好きな仲間が爽やかな空気の中で、和気あいあいと作業しています。お近くのフィールドで、一緒に汗を流しませんか。



緑地の作業風景



小学校の総合学習支援



NEW!

生物多様性動画第3弾

特定外来生物を知ろう
— 相模原の生物多様性と外来種問題 —



これも相模原市全域に今は生息しています。

相模原市で問題になる外来生物について、市博物館学芸員がわかりやすく解説しています。



総視聴回数
3.5万回!

さがみはら生物多様性
ネットワークチャンネル



アメリカザリガニは200個以上の卵を

会員交流会2024 北里アクアリウムラボ

大学生が主体となって、飼育展示を行っている水族館「北里アクアリウムラボ」で会員交流会を行いました。

大学生のみなさんから解説をいただきながら、見学をした後、会員の活動紹介や情報交換をしました。



会員募集中!! 入会随時

さがみはら生物多様性ネットワークに入会して、生物多様性の保全と一緒に取り組みませんか。ネットワークの趣旨に賛同する個人・団体・事業者で活動に積極的に参加していただける方であれば、どなたでも入会できます。

年会費…1口1,000円

個人・団体会員 / 1口以上
事業者会員 / 2口以上

発行者：さがみはら生物多様性ネットワーク事務局
(相模原市水みどり環境課内)

住所：相模原市中央区中央2-11-15

電話：042-769-8242

Eメール：midori@city.sagamihara.kanagawa.jp

